

アライ (Ally) の増加促進による LGBTQ+が住みやすい街の実現

誰にとっても住み心地の良い八王子へ

Transforming Hachioji to Comfortable Town for LGBTQ+ community
Through Promoting Increment of Ally
~Aiming for Comfortable Town for Everyone~

中山ゼミ アライのAチーム

後閑姫乃 佐藤華歩 中島弘 中原優香 皆川華南 海塩さやか 徐有晶 綿沼幸紀

指導教員 中山雅司

創価大学 法学部 法律学科 中山ゼミナール

キーワード：LGBTQ+、アライ、SDGs、企業、学生間交流

1. はじめに

近年、SDGsを背景に、LGBTQ+への理解を深める動きが活発化しており、企業、自治体、市民団体が様々なことに取り組んでいる。一方、八王子市のLGBTQ+に関する取り組みは、年に数回の電話相談のみである。この問題を解決すべく、LGBTQ+フレンドリー企業認定の実施と学校・学年横断型LGBTQ+サークルの設立を提案する。

2. 現状分析

(1) LGBTQ+について

自身の性に対し、性的マイノリティいわゆるLGBTQ+に該当するという自覚のある人の割合が、近年増加傾向にある。電通総研(2019)の調査によると、LGBTQ+に該当する人が2012年の5.2%から増加し、2018年には8.9%、つまり11人に1人であると発表した。その理由に大きくかかわっているのが、「アライ」の存在である。「アライ」(Ally)とは、「味方」を移民する単語で、そこから転じて性的マイノリティの人たちを理解し支援する人達のこと、またはその考え方のことを指す。LGBTQ+の方にとって住みやすい街をつくるうえで、彼らの存在は欠かせないものとなっている。

(2) 八王子市の現状

八王子市では、市内在住の方だけでなく、市内の事業所や学童保育所などに対し、市が取り組むべき課題についてのアンケートを実施している。新人職員に対し、男女共同参画社会実現に向けて進めるべき課題について質問したところ、「性に関する偏見や差別をなくすための意識啓発と理解促進」と回答した人が、全ての回答内容で2番目に多く、4割を占めている。またLINEを使った調査において、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めるために、市が取り組むべき課題についての質問では、全体、市内在住者ともに4割が、性的マイノリティに対する理解の促進と回答している。

これだけのニーズがあるにもかかわらず、八王子市が実際に行っているLGBTQ+支援は、電話相談窓口のみにとどまっている。しかも窓口の対応時間

は、奇数月の第4水曜日に、15時30分から18時30分までのわずか3時間である。LGBTQ+に関する悩みをもっている方は、会社勤めの方、主婦の方、学生の方など様々であるため、これでは八王子市のブランドメッセージ「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」の「あなた」に含まれる人が限定的になってしまう。全ての八王子市民が、自身の道を歩けるように、LGBTQ+への支援活動の活性化は必要不可欠と考える。

(3) 企業が変わる時代

LGBTQ+への支援を行うのは、単に市だけではない。企業もまたLGBTQ+支援を行うべきである。株式会社ガロアが大学生455名を対象に行った調査(2022)によると、企業選びの基準として「SDGsやLGBTに対する取り組みが活発」かどうかを見ると回答した学生が6割近くいる。SDGsのゴール5、11の中には、「ジェンダー平等を実現しよう」「住み続けられるまちづくり」がある。LGBTQ+支援を通して八王子市を住みやすい街にすることで、SDGsのゴール達成にも貢献することができる。「学生が企業を選ぶ時代」と言われていることから、企業が学生や時代のニーズに応えることは大いに価値がある。事実、朝日新聞(2017)によれば、LGBTQ+に対応する施策を行っている企業は39.7%であり、5000人以上の大企業に絞ると、75.0%にもなると言われている。規模の大きい企業が率先して行っていることから、LGBTQ+支援は市だけの問題ではなく、企業も率先して携わる必要があるのである。

3. 提案

以上の八王子市のLGBTQ+支援に対する課題解決にあたって、第一に必要なのは「彼らがこの社会に間違いなく存在している」という意識の土壌を整えることであると考えた。これを作り、支えるキーパーソンは、「アライ」と呼ばれるLGBTQ+を理解し支援する人々である。以下の2点の提案は、この「アライ」を増やすことを大きな目的とし、LGBTQ+の理解促進において欠かせない役割を果たしている学生、企業をターゲットとしている。

提案：

1. LGBTQ+ Student Union
2. LGBTQ+フレンドリー企業認定

1について、中学生から大学生による、LGBTQ+当事者とアライを対象とした学生団体の設立を提案したい。広い年齢層の団体であることを活かし、様々な視点からの意識教育の先駆けとなると考えている。また、特に悩みを抱えやすい中学生から大学生のユース世代の居場所となり、つながりを創出することを期待している。

活動内容として、

1. 中学生と高校生を対象とした、提案型パネルディスカッション
 2. 高校生以上を対象とした、LGBTQ+に配慮した研修旅行
 3. ベスト LGBTQ+カンパニーの選出（後述）
- を挙げる。八王子市内の各大学の既存のサークルを活かし、大学生中心で組織づくりや運営を行い、市のホームページでの広報や各種公式 SNS での広告、学校での配布物で中高生の初期団員を集める。活動頻度は原則月に一回で、八王子市内の中学校を転々として活動していく。

2について、八王子市が評価項目に従い、LGBTQ+フレンドリー認定を行う制度である。認定は常時行い、企業はハローワーク等で「LGBTQ+に優しい企業」として求人を行うことができる。また、学生団体により、「ベスト LGBTQ カンパニー」の選出を年に一度行う。市のホームページや掲示板、SNS を通じて認定企業を募る。広報に利用するポスターを小中学生から募集することにより、企業だけではなく、より広い年代へのアプローチを可能にする。大手企業だけでなく、八王子市内で LGBTQ+フレンドリーを掲げている企業が増えることにより、社内のアライ増加はもちろん、LGBTQ+支援への取り組み需要の見える化が促進されることを期待している。評価項目としては、

1. 社内規定に LGBTQ+への差別、ハラスメント、アウトティング禁止に関する記述
2. 施設設備
3. 製品・サービス
4. 社会貢献
5. 啓発活動

を挙げる。本評価項目は、2017年に札幌市が開始した「札幌市 LGBT フレンドリー指標制度」と「PRIDE 指標 2022」を参考にして作成した。

4. 提案がもたらす3つの効果

1つ目は「地域交流の活性化」である。学校、学年を超えた繋がりを創出することによって、学園都市の特徴をもつ八王子市の魅力をさらに拡大する狙いがある。多くの大学が立地する都市というイメー

ジだけではなく、学生が異なる背景の人と繋がり、学び合える新たな学園都市の構築を目指す。

2つ目は「住みやすいまちづくり」である。本施策によって、誰もが住みやすいまちが形成され、子供を持つ世帯、若い勤労者世代、学生が積極的に住みたいと思う街になると考える。LGBTQ+ Student Union の取り組みを通じて、近年の学生が意識する多様性に溢れた町が形成されることで、大学卒業後も、八王子市に住み続けたいと思う学生の割合が増加すると予測する。また、近年ダイバーシティを意識した職場選びをする若い勤労世代は 52%と半数を超えている（株式会社 RASHISA 2022）。よって、LGBTQ+フレンドリー企業認定を導入することで、八王子市で働きたいと考える若い勤労世代の増加が期待される。

3つ目は「LGBTQ+に関する課題解決の需要の可視化」である。本施策を実施することによって、八王子市内の LGBTQ+当事者の方やアライの人数、そして LGBTQ+を応援する企業数が定量化され、LGBTQ+を取り巻く課題の解決の需要の測定に繋がると考えている。

5. 参考文献

- 『少子化の現状』（閲覧日：10月2日）
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/kosodate/011/0005/p001121.html#:~:text=%E6%98%AD%E5%92%8C50%E5%B9%B4%E4%BB%A5%E9%99%8D%E3%81%AF,%E6%88%A6%E5%BE%8C%E6%9C%80%E5%B0%91%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F%E3%80%82>
- 『PRIDE 指標』（閲覧日：9月25日）
<https://workwithpride.jp/pride-i/>
- 『札幌市 LGBT フレンドリー指標制度』（閲覧日：8月10日）
<https://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/lgbt/sihyo.html>
- 『各種アンケート調査結果』（閲覧日：10月2日）
https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/003/004/kento/p029984_d/fil/05.pdf
- 『dentsu NEWS RELEASE』（閲覧日：10月2日）
<https://www.dentsu.co.jp/news/release/pdf-cms/2019002-0110.pdf>
- 『HUFFPOST』（閲覧日：10月2日）
https://www.huffingtonpost.jp/2019/01/10/lgbt-survey2018-dentsu_a_23639872/
- 『PR TIMES』（閲覧日：10月15日）
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000012.000075889.html>
- 『朝日新聞』（閲覧日：10月15日）
https://asahi.gakujo.ne.jp/common_sense/morning_paper/detail/id=2074